

令和7年度 北空知地域 ACP（人生会議）研修会開催結果・評価

項 目	内 容
1 日 時	令和7年（2025年）10月28日（火）18：00～19：30
2 内 容	（1）講 演 テーマ 地域でACPについて考える ～「もしものときに、どうしたいか」は、変わっていくことがある～ 講 師 社会医療法人恵和会 西岡病院 内科部長 澤田 格 先生 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏 氏 （2）グループワーク ① どのタイミングでの意思確認が必要か ② どのようにしたら北空知地域で普及ができるか （3）グループワーク結果の意見交換・質疑応答
3 出席者	看護師30名、保健師11名、理学療法士1名、介護支援専門員7名、介護福祉士4名、 社会福祉士3名、事務職1名、生活相談員2名、看護教員5名 合計64名（内WEB参加12名）
4 結 果	1 講演 ・講演では、西岡病院と「とよひら・りんく」の紹介があり、豊平区西岡・福住地区の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士等の多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指し、政策立案や均てん化などを資することを目的に設立。年4回の合同会議を定期開催し「人生の最終段階の意思決定支援」、「感染症」など、在宅医療に関する話題を学ぶ研修会を実施しているとの話があった。 ・ACPの実践としては、西岡病院の事例を通してACPサイクル（①話す②残す③伝える④見直す）やACPで必要な基本コミュニケーション技術（反復・沈黙）について学んだ。 2 グループワーク ・①どのタイミングで意思確認が必要か、②どのようにしたら北空知地域で普及できるかをテーマに、行政、病院、施設、介護事業所、看護学院、保健所などそれぞれの立場・職種から9グループに分かれグループワークを行った。 3 アンケート ・アンケート回答者29名／64名。回収率45.3%。 ・選択設問として、（1）職種、（2）経験年数、（3）研修会をどこで知ったか、（4）研修会の内容は期待していたものに沿っていたか、（5）ACPの基本的な考え方について理解が深まったか、（6）研修会のテーマは地域の課題として重要だと感じたか、（7）自身がかかわる場でACPを実践するために何か行動を起こしたいと思ったか、（8）全体としてこの研修会に満足しているか ・自由記載設問として、（1）今回の研修会で最も印象に残った点、または最も参考になった点、（2）今回の研修会で内容が不足していた点や、もっと詳しく聞きたかった点、（3）今後、この研修会で取り上げて欲しいテーマや研修の方法について、（4）研修全体を通しての意見・感想、の欄を設けた。 全体を通して、参加者は講演内容やグループワークを通じて、ACPについての理解を深めたことが伺えた。意思決定は変わるということ、「本人」の意思を尊重し家族のみの意見が反映されるものではないことが重要であることを再認識したなどの回答があり、研修の効果が高かったと思われる。

5 評価 達成度 について	【目 的】 看護職及び医療介護福祉専門職等がACPに関する知識を学び、限られた社会資源の中で、いかにして北空知地域で住民主体の在宅医療を推進していくかを検討する。 【目 標】 1. 参加者がACPの理解を深めることができる。 2. 医療・介護・福祉専門職間で意思決定支援を考えることができる。 3. 参加者が北空知地域で取り組めるACPについて考えることができる。
○→達成・ 良かった	○地域の多職種連携の課題に即した企画だったか →「○」 ・ACPは1つの業種にとらわれず多職種が連携して情報共有を図りながらその方の支援を必要とするものであると思いますので、多職種連携の課題に即した企画であると思いました。 ・高齢化率の非常に高い北空知地域において、今後在宅医療の推進は必須であり、住民のニーズを十分に把握した上で対策を推進するために ACP の取り組みは重要かつ早急に開始する必要があったため。 ・多職種間に関係のある課題で共有できる企画だったと思う。 ・多職種で理解を深め共有する内容であったため。
△→ほぼ 達成・ まあまあ 良かった が課題あり	
×→達成 できてい ない・良く なかった	○テーマの選定 →「○」 ・このテーマで行ったことはとてもいいと思いました。まず、ACP という言葉しか知らない方や言葉は知っていても理解が不十分な方などがいたと思います。 - このテーマによって ACP の理解を全てできるわけではないかと思いますが、そのきっかけになった研修であったと思います。 ・上記と同じ。 ・いろいろなところで ACP が取り上げられていて多くの人が興味関心のあるテーマだったと思う。 ・多職種連携において重要な ACP（人生会議）をテーマとしていたため。 ・身寄りのいない方が増えてきているので、テーマとして良かった。
	○周知方法 →「○」 ・所属からの案内が多い状況が分かりました。以外でもチラシ等で周知していますが、圧倒的に所属機関のからの案内が多いので今後も同様の周知方法で参加者を集めることがいいと感じています。 ・メール・郵送等により広く周知できている点は良いと思います。介護施設職員の出席が少なく、周知の工夫が必要と感じました。 ・郵送する範囲が若干限定的だったのではないかと思います。 ・チラシの内容も解りやすく、法人職員へも伝えやすかった。
	○会場・WEB参加の状況 →「○」 ・事務局の準備に大変さを感じました。会場・WEB 両方ではなく、今後も研修を続けていくと思うので負担のないかたちでの研修を開催する方法がいいと思いました。なので、会場とWEBの両方で行う必要はなくどちらか一本で行った方がいいと思います。 ・5年ぶりの集合開催でしたが、50名以上が会場参加できたことは良かった。WEB参加枠も設けたことで、施設看護師等の現場を離れづらい方が参加できたことも効果的であったと感じました。 ・大きな会場で集まりやすかった。WEB参加者もあり準備が大変だったと思うがハイブリッ

	ド開催は良かった。 ・全体では現地参加も多く良かったと思うが、当法人職員では間に合わなくWEB参加者もいた。
プロセス	○小部会の打合せ・準備状況 →「○」 ・各担当者が Zoom で話し合い打ち合わせを行うことができ、それほど多くの回数の打ち合わせをせずに物事が進んだと思います。準備に関しては特に気になることはありません。 ・3つの団体・小部会が共催であったため、どこかが主導で行うのが分かりにくかった。そのため、3団体間の調整が難しかった。 ・初めて参加したため慣れないための不安があった。 ・小部会において事前の打合せを実施し、企画内容や進行方法について意見を共有しながら準備を進めた。 ○小部会のメンバーそれぞれの役割を遂行できたか →「△」 ・保健所・1部会との共同での開催となり、それぞれ役割を分担し行っと思いますが、感覚的で申し訳ありませんが、看護研修会の事務局も兼任している委員に負担が多くあったのではないかと気になってはいました。 ・決定した役割は、各自遂行できていたと思います。 今回は講師に講義内容を一任したため直前まで流動的な部分があり、事前に決めた役割分担から変更が生じたが、タイムリーに調整ができなかった。次回も同じ講師なら、打合せの段階から会議に参加してくれると思われる。 ・始めは資料作りを請け負ったが途中で役割が変わった。当日会場で何となく役割を探して動いた。 ・事前に役割分担を行い、当日は各メンバーが担当する役割を担いながら運営を行った。自身は会場準備のみであったが、皆さんがそれぞれ役割を果たしていた。 ○参加者の状況・職種 →「△」 ・グループワークがあったことでケアカフェではありませんが、それぞれの思ったことを話すことができ良い研修で会ったと思います。ただ、△にしたのは看護職が多かったことから介護福祉士や社会福祉士、事務職や生活相談員などがもっと参加できれば良かったかなと思いました。 ・病院看護師が半数近くを占めており、医療と介護の連携という面では、施設の介護職・看護職等が増えると良いと感じた。また、在宅医療の推進において薬剤師・栄養士・リハ職も大きな役割を担うと感ずるため、参加が増えると良いと感じました。 ・多職種の方にご参加いただけた。 ・多職種からの参加があり、連携を意識した場となった。一方で、自身の法人からの参加者は少数であった。 ・病院勤務の病棟看護師や施設勤務の介護職・相談員の方にもっと参加してほしかった。
結果	○参加者数・職種 →「△」 ・十分な人数が集まったと思います。ただ、看護職が多い印象を受けています。 ・上記と同じ。 ・多くの方にご参加いただけた、多職種で話し合えた。 ・全体としては参加者数も多く、幅広い職種の参加があった。一方で、福祉系職員の参加はやや少なく、当法人においては介護職の参加がなかった。

	○参加者の満足度 →「○」 ・わかりやすい講義であったとのアンケート結果から満足度は高いと思います。 ・ACP の基礎理解にはつながっていた。一方で、実践への活かし方が具体的にイメージできなかった参加者も多かった。今後、具体的な取り組み事例や各機関・職種での役割について具体化する学習ができると良いと感じました。 ・アンケート結果にもあるがグルワクの時間が短く不完全燃焼感があった。 ・参加者からは「とても良い研修会だった」との意見が聞かれ、全体として満足度は高かった。 ・ACP の取り組み、イメージが出来なかったという感想もあり、具体的な取り組みを学び実践することが課題と感じた。
まとめ	○ACP をテーマとした本研修会は、高齢化率の非常に高い北空知地域において、多職種が連携して早急に取り組むべき企画であった。ハイブリット開催として、久々の集合研修で実際に参加者同士がグループワークで意見交換、交流も出来たのが良かった。 ○参加者の職種では、看護師の参加が1 番多かったが、病院勤務の病棟看護師や施設勤務の介護職・相談員の方の参加が少なかった。 ○次年度以降も集合形式の研修会が良く、ACP の研修は継続が必要で、実践的な取り組みが課題。